

試験番号：VA-11-0055

受付日：平成23年 6月22日

報告日：平成23年 8月10日

改質アスファルトルーフィングの
止 水 性 試 験
報 告 書

財団法人 日本建築総合試験所

試験研究センター

センター長

工学博士 井上 一郎



技術管理者

材料試験室長

博士（工学） 永山 勝



試験名称	改質アスファルトルーフィングの止水性試験	
試験目的	釘孔部分の止水性の確認	
試験年月日	平成23年7月18日～同月20日	
試 料	材料名*	改質アスファルトルーフィング
	商品名*	テルフェルト<TERFELT>
	製造会社名*	Silcart S.r.l(イタリア共和国)
	製造年月日*	2011年3月31日
	ロット番号*	なし
	搬入年月日	平成23年6月22日
	数量	1巻
	外観	写真-1に示す。
	搬入後の保管	温度20±2℃、相対湿度60±5%の恒温恒湿の室内
	備考*	搬入された試料は、製品幅1mの改質アスファルトルーフィング(製品の単位面積質量:400g/m ²)であり、依頼者が長さ約20mに切断採取したものである。改質アスファルトルーフィングの断面構成を図-1に示す。 また、試験に用いるステンレス鋼くぎ(胴部の形状:リング、胴部径:2.4mm、長さ:50mm)および下地材として合板(積層数:5層、厚さ:12mm)も搬入された(写真-2参照)。
試験方法	試験は、「社団法人 日本建築学会 建築工事標準仕様書・同解説 JASS 12 屋根工事(2004年) 参考資料 6. 屋根の防水性能の検証において下葺材の止水性の判定に用いる評価試験方法(案) 6.1 釘孔部分の止水性試験」によった。試験体の製作方法および試験方法の詳細を表-1に示す。	
試験結果	目視観察結果	詳細結果表
	試験体10体とも、試験開始から24時間後に、貫通釘を通した下地裏面への漏水は認められず、その後、水を取り除いてからの24時間後に、下地の濡れは認められなかった。	表-2
担当	材料部 材料試験室 試験責任者および試験担当者 主査 森 修一	

*: 依頼者の提出資料による。

表-2 止水性試験結果

試験体番号	目視観察*	
	試験開始から 24 時間後	水を取り除いてから 24 時間後
1	◎	◎
2	◎	◎
3	◎	◎
4	◎	◎
5	◎	◎
6	◎	◎
7	◎	◎
8	◎	◎
9	◎	◎
10	◎	◎

*：目視観察の記号の意味を以下に示す。

◎：異常なし

●：貫通釘を通して、下地裏面に漏水が認められた。

×：下地の濡れが認められた。

このPDF書類は抜粋タイプです。
詳しい資料が必要な方は、下記E-mailかお電話にて
ご連絡くださいますようお願い致します。



ジャポニカ株式会社

〒534-0024 大阪市都島区東野田町 1-9-3-1304

TEL 06-6353-8260

FAX 06-6353-8262

E-mail : info@japonika.jp

<http://www.japonika.jp>